

みちしるべ

第141号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議



平成29年度 出雲市人権作文・ポスターコンクール



市教育委員会では、次代を担う小中学生が学校生活や日常の家庭生活等の中で得た体験に基づいて、人権に関する自分の考えや思いを作文やポスターに表現することにより、人権尊重の重要性、必要性について理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけることを目的に人権作文・ポスターコンクールを毎年実施しています。

今年度も、人権作文の部では164点、人権ポスターの部では200点の作品が寄せられ、昨年11月9日、市役所で表彰式を行いました。

今号では、特選に選ばれた皆さんと作品の一部を紹介いたします。(敬称略)

いとこが生まれて

国富小学校 4年
梶谷 風羽

今年の六月、お母さんの弟、つまりぼくのおじさんにあたる人に赤ちゃんが生まれました。ぼくのいとこになります。

名前は「けんちゃん」です。けんちゃんは小さくてとてもかわいいです。ぼくは今まで、赤ちゃんをだっこしたことがありませんでした。おそろおそろだっこしてみると、けんちゃんは泣きました。(手も足も顔も、こんなに小さいんだなあ)と思いました。

でも、けんちゃんはほかの赤ちゃんとはちがうところが一つあります。病気でくちびるがつかっていません。「口しんれつ」という病気だそう

です。その病気が分かったのは、けんちゃんがお母さんのおなかにいる時でした。

おじさんやおばさんは、病気が分かった後、ぼくとお兄ちゃんに、「生まれてきた赤ちゃんの顔を見た時、からかったりひやかしたりしないでね。」と言われました。ぼくははじめ、何の事か分かりませんでした。おじさんやおばさんは、自分の大切な子からかわれたり、いじめられたりしないか心配だったみたいです。ぼくはそれを聞いて、まだ見たこともない赤ちゃんのことが、なんだか心配になりました。

そしてけんちゃんが生まれました。かわいい赤ちゃんでした。口はつながっていませんでしたが、そんなことは気になりませんでした。こんなにかわいいのに、これからけんちゃんは口のことだからかわれたりするのでしょうか。ぼくは、ぜつ対いやです。

ぼくは、けんちゃんが病気をもって生まれてきたことで、いろいろ考えました。外見のちがいで差別したりいじめたりするのはなぜなのか。

だれの命も同じ重さがあることをわすれてしまうのはなぜなのか。ぼくの近くにいる、ぼくがよく知っている人のことだから、ぼくは本気で考えたのかもしれない。もしもけんちゃんがいじめられたら、けんちゃんだけでなく、家族もぼくもつらい気持ちになると思います。

世界中には、病気やけがのため、外見がちがう人がたくさんいます。ぼくはまだ子どもだけれど、これから大人になるにつれて、いろいろな人と出会っていくと思います。ぼくは、その人をよく知りもしないのに、差別したり笑ったりすることはぜつ対にしません。その人だけでなく、その家族も友達もつらく悲しい思いをさせることになるからです。そして、からかう人を見つけたら、声をかけることができる人になりたいです。

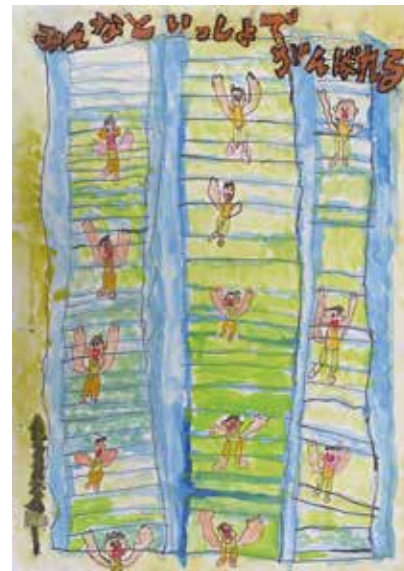
けんちゃんは、来月手じゅつをします。成功して元気になってほしいです。そして、いっぱい遊んであげたいです。ぼくはずっと、けんちゃんの味方です。



高浜小学校 6年 竹下 綾香



長浜小学校 5年 川上 大介



湖陵小学校 3年 船木 絢多



河南中学校 2年 松村 庄太郎

★入選 8点

★佳作 39点

- ★特選
 - 湖陵小学校 3年 船木 絢多 「みんなとつよよとがんばる」
 - 長浜小学校 5年 川上 大介 「気がついてきざづいて、人がいる」
 - 高浜小学校 6年 竹下 綾香 「いけないと言える勇気が助けたよ」
- ★入選
 - 河南中学校 2年 松村 庄太郎 「「あたりまえ」の為に」

【人権ポスターの部】

★入選 12点

★佳作 18点

- ★特選
 - 四絡小学校 1年 小川 梨愛 「いつしよにあそぼう」
 - 国富小学校 4年 梶谷 風羽 「いとこが生まれて」
 - さくら小学校 6年 青山 海輝 「言葉は大切」
- ★入選
 - 第一中学校 2年 神門 あゆみ 「相手の命、自分の命」

【人権作文の部】

平成29年度 出雲市人権作文・ポスターコンクール入賞者

特選・入選作品は、人権作文・ポスター集「ひまわり」や人権カレンダー等で紹介し、学校や家庭等での啓発活動に役立ちます。

あなたの職場や地域に
同和教育啓発指導員を
派遣します！

市では、同和教育啓発指導員が市内にある事業所・各種団体や地域などにしかけて、同和教育を是れはじめとするさまざまな人権問題について、講話をしたり、ビデオフォーラムのお手伝いなどをしてあります。指導員の派遣は無料で、平日、土日をお問わず、時間帯も問いません。また、少人数の研究でも対応いたします。内容は、ビデオフォーラム、講話を中心に行っておりますが、内容等ご希望がありましたら、お気軽にご相談ください。

また、人権問題に関するDVDやビデオ等の貸し出しも行っていきます。

【おたすね】

人権同和政策課

☎ 75006